

STOP! ジャンボタニシ被害



大発生

被害ゼロ

2020年

隣に大発生のほ場があっても、適切な管理で被害ゼロ!

耕うん・均平
薬剤散布



被害ゼロ!

2021年

前年に大発生していても、適切な管理で翌年は被害ゼロ!

↓ 対策のポイントはコチラ ↓ 複数の対策を組み合わせ、被害を防ぐ!



【春】 侵入防止

水路から貝がほ場に侵入しないよう、ネットや金網を設置

9mm程度の網目がおススメ!

小さい貝はネットをすり抜けるため、浅水管理や農薬散布を併用



【田植え時】 食害防止 (どちらか選ぶ)

①浅水管理 田植え後約3週間、水深は4cm以下(理想は1cm)に

②農薬散布 貝が殺貝剤をよく食べるよう、水温15℃以上、水深3~5cmで(苗が食べられにくくなる5葉期以降まで、①か②でしっかりガード!)



【秋冬】 越冬防止

冬期の耕うん 物理的に貝を破壊する+寒さにあてて凍死させる

時速1.4km以下、回転速度PTO2で、殺貝率UP!



【冬】 水路の泥上げ

常に水や泥がある水路は暖かく、越冬に最適

1~2月に泥上げし、掘り上げた泥は、薄く広げて貝を寒風にさらす、潰すなどして、生き残らないよう処理

